

22

1999.5

LET'S PLAY

Indiaca

Japan Indiaca Association

● (社)日本インディアカ協会

社団法人 日本インディアカ協会

平成11年度事業計画概要

経済不況の波はいっこうにおさまる気配を見せず、スポーツ界にも大きな影響を与えております。スポーツ振興基金、笹川スポーツエイドもそのあおりを受け、年々補助金が減少してしまい、思うような大会が開催しにくくなっております。

季節の春は毎年必ず忘れずにやって来ますが、社会情勢の春はいつやって来るのでしょうか。

平成11年度も、厳しい社会環境の中で活動を展開して行かなければなりません。

社団法人の発展は1にも2にも個人会員の充実にかかっている訳で、個人会員一人一人の力で組織を支えていくことが理想であります。

平成11年度は、「個人会員の拡大・審判員の充実」を事業の重点目標に位置づけ、日本協会をはじめ各都道府県協会、公認審判員が一丸となって取り組んで行きたい。

また、組織づくりについては、今年度中に47都道府県にすべてのインディアカ協会設立を達成したいところであります。

【競技会の開催】

【各種全国大会】

- 『第6回 '99ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ』

・1999年6月6日(日) 東京体育館 128チーム (570名)
(社)日本インディアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日頃の練習の成果の発表の場として、会員相互の親睦・交流の場として評判の高い大会である。本年は、ドイツチームを招聘して国際交流の機会としても重要な意味を持つ大会となる。

- 『第2回全日本シニアインディアカ大会』

・1999年11月20日(土)～21日(日)

和歌山市「ビッグホエール」 72チーム (420名)

この大会は、スポーツ振興基金の助成を得て、開催されるもので第2回目となる大会である。

従来の「オールジャパンレディース」に替わる大会となる。

20年の歴史の中で、若い世代の台頭と共に、技術、体力のレベルがアップされ、年齢のハンディキャップは、競技に直接影響し、競技する楽しさや喜びを著しく阻害してしまう。従って、シニアの大会を独立させることにより、中高年者のインディアカ愛好者の活動の場をつく

る意味がある。

- 『第22回全国インディアカ大会』

・1999年9月5日(日)

奈良県櫻井市芝運動公園「総合体育館」

96チーム (540名)

「第53回全国レクリエーション大会」の中で開催される。今回はすでに全国スポレク祭を実施した実績を持つ奈良県での開催ということになる。

- 『第12回全国スポーツ・レクリエーション祭』

・1999年10月16日(土)～19日(火)

山形県上ノ山市「文化体育センター」54チーム (540名)

- 『'99オールジャパンインディアカ大会』

・2000年1月31日(日)

長崎県大村市「大村市体育文化センター」

80チーム (450名)

【ブロック大会】

- 『北海道・東北ブロックインディアカ大会』

・1999年9月19日(日)

上山市文化体育センター 72チーム (420名)

- 『関東ブロックインディアカ大会』

・1999年5月23日(日)

東京都武蔵野市体育館 80チーム (400名)

- 『東海・北陸ブロックインディアカ大会』

・1999年7月11日(日)

岐阜市「メモリアルホールふれあいドーム」

96チーム (540名)

- 『中・四国ブロックインディアカ大会』

・1999年6月5日(日) 香川県高松市 72チーム (420名)

- 『関西ブロックインディアカ大会』

・1999年7月10日(土)～11日(日)

京都府「太陽が丘」 96チーム (540名)

- 『九州・沖縄ブロックインディアカ大会』

・1999年6月19日(日)

大分県日田市「日田市総合体育館」90チーム (500名)

【個人会員拡大キャンペーン】

(社)日本インディアカ協会、都道府県インディアカ協会の発展は個人会員の拡大にかかっていると言っても言い過ぎではない。インディアカを愛好しているという意志表示の第一歩が個人会員としての登録といえる。

この会員を掌握することは、大会の開催、講習会・研修会

の開催、クラブ活動の活発化などインディアカスポーツの発展が期待できる。

そこで、会員拡大の具体的目標を掲げ、期間を定めて「会員拡大キャンペーン」を実施し、顕著な成績をあげた者については表彰をする。今年度は、指導審判員と都道府県協会を対象にして行う。

【国際交流事業】

ドイツ連邦共和国から選手12名（男5名、女6名）と团长クラウス氏を招聘する。

〈期間〉：1999年6月5日(土)～6月12日(土)（7泊8日）

〈行動予定〉：「フレンドシップ大会」参加、茨城県インディアカ協会関係者と交流親善大会、千葉県インディアカ協会関係者と交流親善大会、ホームステイ、観光等

【専門委員会の開催】

【組織委員会】

年4回開催

- ・「個人会員拡大キャンペーン」の推進
- ・組織の育成、強化について検討、実践する。
- ・公認審判員、指導審判員の充実について方策をつくり実施する。

【指導者審査委員会】

年4回開催

- ・公認審判員の資格審査を行い、普及審判員及び指導審判

員の認定を行う。

- ・筆記試験問題の作成、カリキュラムの改訂等の検討。
- ・文部大臣の事業認定による「地域スポーツ指導者」資格について、専門科目のカリキュラムの検討。
- ・審判員の認定、登録業務を迅速にするため審査委員会を定期的に開催。審判員養成講習会の開催日程と連動させたい。

【指導・技術委員会】

年4回開催

- ・指導技術の研究（指導法）の確立。
- ・基礎技術、応用技術の研究。
- ・審判技術の研究（審判法の確立）。
- ・国際競技規則制定に対応して日本国内競技規則の改訂を検討。

【事業委員会】

年6回開催

- ・全国レベルの大会の企画立案。
- ・用具の公認審査会の開催。
- ・機関紙「Let's Play Indica」の編集。

年2回発行

【調査・研究委員会】

- ・インディアカ愛好者の動向調査。
- ・インディアカクラブの実態調査。
- ・インディアカの運動学的研究。

【特別委員会】

- ・文部大臣の事業認定による地域スポーツ指導者「インディアカ」創設のための委員会を発足させる。

「新・認定員」決まる

平成11年度を迎え、「認定員」が新しく委嘱された。

「認定員」は、都道府県協会から推薦された指導者を、理事会の承認を得て、委嘱するものであり、主に普及審判

員の養成・育成にあたることが職務である。

認定員の推薦をまだされていない協会があるが、早急に推薦されるよう希望する。

インディアカ認定員一覧

（平成11年度～12年度）

【北海道】 ●山本 尚文 (男)
 【青森県】 ●白川 直人 (男)
 【山形県】 ●井谷 正由 (男)
 ●斎藤 利光 (男)
 ●植田のり子 (女)
 【宮城県】 ●松谷 順二 (男)
 【福島県】 ●沼沢 行晴 (男)
 ●菊田 保 (男)
 ●斎藤 朋蔵 (男)
 【群馬県】 ●木村 君子 (女)
 ●高津アヤ子 (女)
 ●飯塚 書主 (男)
 【栃木県】 ●松本 正明 (男)
 ●山下 真信 (男)
 ●人見とよみ (女)
 ●本沢 光一 (男)
 【埼玉県】 ●宮田 紀栄 (男)
 ●江村 文夫 (男)
 ●坂口 進 (男)
 【千葉県】 ●奥田 幸夫 (男)
 ●小鷹 保之 (男)
 ●中澤 一夫 (男)
 ●山口 一夫 (男)

【東京都】 ●宮城 重男 (男)
 ●細川 道雄 (男)
 【神奈川県】 ●長谷川忠信 (男)
 ●間中 俊雄 (男)
 ●富田 孜 (男)
 ●加賀美長明 (男)
 ●岡田 正義 (男)
 【新潟県】 ●山際 英夫 (男)
 ●浅井 徹也 (男)
 ●高橋 誠次 (男)
 【静岡県】 ●佐野 行正 (男)
 ●澤田 貞子 (女)
 ●杉山 明 (男)
 【岐阜県】 ●仲井 善雄 (男)
 ●矢島喜美子 (女)
 【三重県】 ●北田 稔 (男)
 ●中本大二郎 (男)
 【滋賀県】 ●神内 洋子 (女)
 ●松田 正巳 (男)
 【京都府】 ●橋岡 卓治 (男)
 【大阪府】 ●瀬戸 章嘉 (男)
 ●中川 学 (男)
 【奈良県】 ●横山 峯子 (女)

●菊永 順子 (女)
 【和歌山県】 ●東 俊男 (男)
 【兵庫県】 ●武市 智子 (男)
 ●南方 英紀 (男)
 【山口県】 ●串崎 紘子 (女)
 【島根県】 ●大西 英和 (男)
 ●藤山 茂 (男)
 ●吉山 榮喜 (男)
 【広島県】 ●高橋 憲治 (男)
 【香川県】 ●小岩 文彦 (男)
 ●桑島 教雄 (男)
 【愛媛県】 ●関谷久美恵 (男)
 【福岡県】 ●成吉 静穂 (女)
 ●小林健次郎 (男)
 ●吉武 忠雄 (男)
 ●佃 涼子 (女)
 ●原田 清子 (女)
 【長崎県】 ●山口 松博 (男)
 ●用田 紀子 (女)
 【大分県】 ●桑原 紀子 (男)
 ●田辺 信市 (男)

インディアカ国際組織の設立と国際ルールの制定



インディアカによるドイツ連邦との交流は、平成5年6月に日本のインディアカ指導者がドイツを訪問したことに始まっている。

その後平成7年4月に東京、9月にはスボレク奈良、平成9年6月に東京と3回にわたってドイツチームを招聘している。この間、平成6年9月、平成8年9月、そして平成10年5月に日本チームがドイツに4回遠征している。

この国際交流を通して、インディアカが徐々にではあるが、ヨーロッパ各地に広がっていることを実感した。

このような状況の中で、日本、バルト3国の一つであるエストニアとドイツは、インディアカを世界的に発展させるためには国際組織をつくり、各国との連携・協力を密に

し、まだインディアカを導入していない国への働きかけをしていく必要があることを確認し、国際大会、世界選手権大会の開催に向けて国際ルールの制定を早急に実現することを約束している。

目標としては、2000年ドイツのベルリンで国際組織の旗揚げをし、これを記念する国際大会を開催することが決められている。そして2002年には、エストニアの首都タリンにおいて、世界選手権大会開催にこぎつけたい。

これを踏まえて、我が国のインディアカルールも無理のない中で国際ルールに近づける準備を始めた。

去る3月に開催された「指導審判員・認定員研修会」の中で、国際ルールに採用されるであろうドイツルールによって、競技を体験した後、感想、意見交換をしており、「指導・技術委員会」が中心となりルールの改定案をつくることになっている。さらにその改定ルールによる実験を、性別、世代別、経験年数別にいくつかのクラブをお願いして感想、意見を集約し検討を加え、2000年を目途にして改定を完了したい。

常務理事 押塚 登喜夫

ドイツチーム4度目の来日！

来る6月5日（土）にドイツチーム12名が、4度目の来日をする。

今回は、「'99ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ」に出場するほか、関東地区の茨城県土浦市、千葉県の我孫子市、八千代市を訪問し、インディアカ親善競

技や観光をすると共にホームステイを体験し、日本の文化、慣習などに直接触れていただくものである。

行動予定は別掲してありますので、国際交流を希望する方はどうぞお出かけ下さい。

99年度インディアカドイツチーム来日スケジュール

月日	行 動 予 定
6 / 5 (土)	09:50 成田空港到着、通関後リムジンバスでホテルへ 15:00 チェックイン後休憩、18:00 レセプション（ホテル内3Fパロン）
6 / 6 (日)	7:00 朝食、8:30東京体育館へ出発 「'99 Japan Friendship Indica League Match」に出場
6 / 7 (月)	7:00 朝食、8:00「日光」へ出発、華嚴の滝、東照宮、日光江戸村を見学。 18:00 茨城県立中央青年の家到着 夕食後、「茨城県インディアカ協会関係者と会食」
6 / 8 (火)	8:00 朝食、筑波山、霞ヶ浦を観光 18:00 「インディアカ交流ゲーム」
6 / 9 (水)	8:00 朝食、10:00出発、我孫子へ向かう 12:00 我孫子の田口邸到着、「千葉県インディアカ協会関係者と懇談会」 終了後はホストファミリーと共に（ホームステイ）
6 / 10 (木)	10:00「国立歴史民族博物館」集合 13:00「八千代市民体育館」で交流ゲーム（ホームステイ）
6 / 11 (金)	午前中ホストファミリーと共に 15:00「新宿ワシントンホテル」に集合、後、自由行動
6 / 12 (土)	7:00 朝食、8:30リムジンバスで成田に出発 帰国

'99 訪日ドイツチームメンバー

団 長 Heinz Kari Kraus
(ハインツ カール クラウス)

女子選手 ① Claudia Müller
(クラウディア ミュラー) 1964
② Mechthild(Mecki) Horster
(メヒティールト…メッキ ヘルスター) 1957
③ Ania Heller
(アニヤ ヘラー) 1967
④ Andrea Kuban
(アンドレア クーバン) 1966
⑤ Barbara Huber
(バーバラ フーバー) 1955

⑥ Elisabeth Steinberger
(エリザベート シュタインベアガー)

1957

男子選手 ① Michael Späth
(ミハエル シュペート) 1974
② Andreas Buchmüller
(アンドレアス ブフミュラー) 1974
③ Wolfgang Riedlinger
(ヴォルフガング リートリンガー) 1954
④ Karlheinz Buhner
(カールハインスツ ビューラー) 1955
⑤ Rudolf Schulze-Frenking
(ルドルフ シュルツェーフレンキング) 1957

インディアカと安全管理 その2

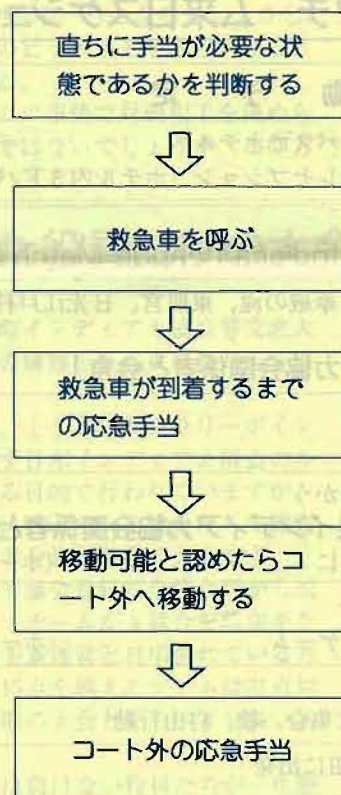
JIA指導技術委員長 瀬戸 嘉章

インディアカ指導の当る者は、インディアカにおいて発生する傷害について十分知っておかなければならない。そして、常に競技者は傷害を受ける可能性を秘めていることを頭において、直ちに手当が必要な傷害について、適格な

応急手当ができるようにする。このことは、インディアカ指導者の基本的事項といえる。

今回はコートで発生した傷害事故による負傷者への応急手当の方法を学習しましょう。

コートの中で競技者が負傷すれば



- 呼吸停止→人工呼吸
- 心(臓)停止→心マッサージ
- 大出血→止血
- 大重度の脳震盪→安静に保
- 複雑骨折→固定

- 競技者自身が歩いて
- 指導者が補助して
- 他の競技者が補助して
- 担架

- Ice(冷却)
- Compression(圧迫)
- Elevation(高揚)

《インディアカ ルール “Q&A”》

〔Q1〕 相手側から来たインディアカを打ったらネットに当たってしまった。同一プレーヤーが続けて打ったがまたネットに当たり再度打って相手側コートに返したところ「ドリブル」を宣告された。正しいですか？

〔A〕 正しい。

第16条第4項にあるように、インディアカがネットに触れた場合に限り、同一競技者はもう1回続けてインディアカに触れることはゆるされる。ただし、一競技者が連続して3回プレーすることはゆるされない。

〔Q2〕 ブロックして手のひらはネットを越えていたがスパイクされたインディアカが自側コート内に入って腕に当たり相手側コートに入ったときに、「オーバーネット」を宣告された。これは正しいですか？

〔A〕 オーバーネットにはならない。

第19条第2項にあるように、競技者が相手側コートにあるインディアカをネットを越えて触れたとき「オーバーネット」となるが、インディアカが自側コート内にあるので反則とはならない。

〔Q3〕 線審のとき、選手がコートアウトをしていたので声を出して主審に伝えたが、これで正しいですか？

〔A〕 「コートアウト」は、主審が判定します。

なお、主審からの要求がない場合は副審が吹笛をすることができます。第8条にあるように、線審は主審からの要求に応じて、意見をのべることができます。線審が判断をしてゲームを止めることはできない。

〔Q4〕 得点が14点对14点から先に15点を得たチームをそのセットの勝者とした。これで正しいですか？

〔A〕 違います。

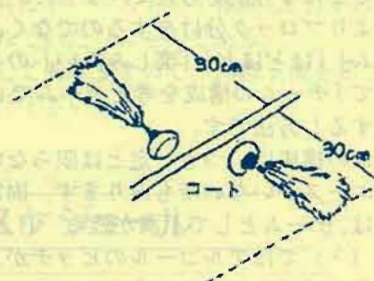
第11条第2項にあるように、先に15点を得たチームをそのセットの勝者とするが、ただし両チームがおのおの14点を得たのちは、2点を勝ちこしたチームをそのセットの勝者とする。現在は主催者側のローカルルールで15点先取としている場合が多いようです。

〔Q5〕 21号で質問のあった「線審を頼まれたが、線審旗はどんな時に振ればよいのですか？」について補足します。

●「ライン近くに落ちた時にフラッグを振る」のライン近くとは？

〔A〕 主審から見てインディアカの接地面が見切れないラインを含んだ巾を言います。その巾の目安は、ラインから内側あるいは外側に約30センチメートルです。

線審は、インディアカがこの巾の範囲内に接地した時、「グッド」あるいは「アウト」の指示をします。



〔Q6〕 インディアカの底部がネットを含むボールの部分とネットから下のボールに同時に当たりそのままプレイが続行されました。これはボールに接触したインディアカとしてアウトになるのでしょうか？

〔A〕 コート外の物体に触れたインディアカとしてアウトになります。

両チームはインディアカをコート内の地表に触れさせないでお互いにネットを越えて打ち合わなければなりません。従ってネット以外の物体にインディアカが触れることはアウトになります。

このことについて地表の区画線（ライン）に接地したインディアカと同じ感覚で見られていますが、地表の区画線（ライン）に接地したインディアカの場合は、グッドとなりプレイは続行されないことから、どこまでをコート内の地表に触れた有効なインディアカとするかが判定の基準になります。

ネットとボールに同時に触れたインディアカの場合は、跳ね返りの状況でプレイが有利な状態で続行されることから、インディアカの底部が半分ネットに触れていても残りの底部が触れてはいけない物体に触れたインディアカとして判定します。

〔Q7〕 相手側スパイクのタイミングに合わなかったブロックプレーヤーが着地した姿勢でネットより低い位置でのブロックは反則となるのでしょうか？

〔A〕 相手側から飛来するインディアカをネットより低い位置でブロックした場合は、有効なブロッキングとは見なされず両手打ち（ドリブル）の反則となります。

ブロッキングとは、相手側から飛んでくるインディアカを肘から先の部位を使ってネット上で阻止するプレイを言います。

ネット上とは、ネット上縁よりも上の空間を言い、ブロッキングに限り、両手が同時にインディアカに触れてもよい空間とは、この空間をいう。



● 地域協会活動報告 ●

◆インディアカ・チャレンジランキング大会

by 千葉県インディアカ協会

県協会の基本となる組織である各インディアカクラブの活性化を図ることを目的に標記大会を開催した。

本大会は、参加クラブが一同に会する必要はなく、自分たちのクラブの練習日に少々時間をとるだけで毎月チャレンジでき、その時の記録を事務局に報告するだけでよく、あとは事務局が記録を集計し、毎月上位の記録を挙げたクラブを表彰するというもので、本年度は30クラブが大会登録をした。

チャレンジ種目は「インディアカバスマリー」これはネット（高さは1.55m）をはさんでそれぞれ3名ずつが、縦に並び交互にインディアカをパスしあい、3分間で何回ラリーが続くか、記録にチャレンジするというもの。

実施期間は9月～2月の6ヶ月間、参加費は1クラブ1,000円、バスマリーのルール・記録のとり方などは各ブロック毎に審判員研修会を開き、伝達した。

ちなみに、1月までの最高記録は257回であった。



◆こんな大会運営はいかがですか？

by 愛知県インディアカ協会事務局長 伊藤昭治

私たちは大会運営をする時に「レベル差」を考えず、一日楽しく過ごすよう企画をしていないでしょうか？

レク・スポーツの精神では、良いのかもしれませんが、大会企画は、選手側に立って企画するものではないでしょうか。

そこでこんな方法を考えてみました。主催側で「レベル差」によりブロック分けをするのではなく、あらかじめ「強いチーム」「ほどほど」「楽しみたい」のグループ分けをしておいて「チームの構成を考えチームでレベル（グループ）を申告する」方法です。

チームの構成はいつも一定とは限らないし、体調の悪い時も、エースがいない時もあります。固定されたブロック分けでは、チームとして不満が残る一日となるでしょうし、反省会（？）ではアルコールのピッチが上がるということにもなるのではないのでしょうか。

「自己申告制」では、チームの事情で対戦相手を決められ、楽しい一日が過ごせるのではないのでしょうか。この方

法で行って来て、それぞれの大会、それぞれのグループで選手の満足顔が見えて一応成功しているようです。

又最近では、この方法でコート優秀チームに賞品を出したあと、全チームの順位を付け「飛び賞」で替羽根を出すように企画に変化をもたせています。もっともっと良い方法があるのでは

ないかと、さらに検討をしています。こんな方法を一度試してみませんか？

試されたら御意見を聞かせて下さい。



◆大汗をかいた役員だけの大会

by 東京都八王子インディアカ協会

平成11年1月17日(日)に市区町インディアカ協会等交流大会 in 八王子大会を審判技術の研修を兼ね東京都八王子市で開催しました。

第2回を迎えたこの大会は、15点先取やラリーポイント等のローカルルールを設けず日本インディアカ協会のルールで行い審判技術を確認する目的で行われていますが、選手はもちろん各協会でも裏方に回っている役員たちで即席チームを作って参加する参加者全員が選手の大会です。

今回は、東京都インディアカ協会登録21全協会等から32チームのエントリーがあり、1チームが3試合を時間をたっぷりって行いました。選手兼運営と日頃慣れている方ばかりでスムーズに行われ、15点を越えたゲームは21点对19点等8セットだけで15点先取の大会とくらべ4分長い39分でした。

ゲームのほうは、日頃口では負けない役員たちが一生懸命身体を動かすわけですから、珍プレーや好プレーが続出

し、とても楽しい一日を過ごすことができました。また、試合後行われた懇親会でもさらに盛り上がり、審判技術の確認とともに協会内の交流も充分深めることができました。



われらインディアカ仲間

☆大阪寝屋川市 さくらクラブ

大阪府寝屋川市成田山大阪別院に近隣する体育館でわがさくらクラブは週一回夜に練習しています。親子、ご夫婦、年齢幅も19歳から59歳、家庭的なクラブです。会員数は10名ですがいつも他クラブの人達と交流があり短い練習時間でも賑やかに楽しくプレーしています。さくらクラブの始まりは知的な障害を持つ私の息子健二がスポーツ大好きでヨチヨチ歩きの時からプラスチックのボールとバットを持って朝から晩迄ボール打ちをしていました。中学生時代は水泳やソフトボールのバッティング等色々なスポーツに出会いました。年齢を重ね何か地域の人達とクラブの中で交流出来るスポーツをと考えていましたら、15年前寝屋川市にインディアカが普及し始め講習会が開かれました。珍しい用具で楽しいスポーツだと感じ私も当初からチームを組みました。女子のチームだったので息子は私について来て横で見たりパスをする位でした。息子と一緒に試合の出来る混合のクラブを作りたいと6年前さくらクラブを発足しました。健二もインディアカがとても楽しい様で、日常は市内の作業所で陶芸の作業をし壺やコップ等作り（第10回レディース大会の参加賞インディアカ型箸置きは息子達の作業所で作らせて頂きました）で忙しい日もあると思いますが、練習日は必ず参加しクラブで出席率は一番です。市の大会や審判講習会にも元気に参加しています。'96年にはドイツの交流大会に親子で参加させて頂き国際的に貴重な体験をさせて頂きました。ハンディを持っていますが、周りの方々の温かいご理解とご協力で息子の人生を素晴らしく豊かにして頂き本当に有難く思っています。

クラブ運営については日頃心にかけている事があります。スポーツの技術、能力差をどの様に運営の価値判断としていくか、又生涯スポーツ、フォアオールの考え方、クラブの中のチームづくりにむずかしさを感じます。スポーツの大きな意義の中に、人間が本来持っている闘争心を種目のルールにしたがって最大限発揮し、自分の能力の限界を確認し、又それ以上に高めたいと努力する心にあると思います。インディアカはチームプレーで一人一人の能力の限界に4人の力が加わり結果として勝敗につながるという競技ですので、息子を加えてのチームづくりは内心申し訳なく思う時もあります。「健ちゃんと一緒にプレーするのが楽しいよ」と言ってお下さる現会員のやさしい言葉に甘えてきましたが、全員が満足したチームではなかったと思います。健二からも、チームの人数の多い時メンバーチェンジをすると「なんで」という不満げな態度を私には見せます。練習は本当に楽しく出来ているので次は試合も終わった時全員が爽快な気分を味わえる様クラブ運営とチームづくりに工夫をし、しっかりとした木に花がいっぱい咲くよう願っています。（松原京子）



☆船橋さざんかクラブ

還暦ばんざい!!

今から18年程前、偶然テレビで見たインディアカに興味を持ち、お茶飲み友達を誘って、近所の空地にロープを張ったネットで始めたのが船橋さざんかクラブのルーツです。

その頃からのメンバーで、今も続けている山村さんと志賀さんが、昨年還暦を迎えました。二人には内緒にして、みなでお祝いをしようと準備をすすめ、日頃の練習会場である公民館の和室で、それぞれが得意料理を持ち寄り、ワインで乾杯。“還暦おめでとう”

そしてプレゼントは赤いボシセットです。

お二人が「年寄り扱いしないで」といやがるのではとチョッピリ心配していた私たちは、予想以上の喜びように感激してしまいました。少々頭痛がしていてもインディアカをやれば治っちゃうというお二人に、私たちも還暦まで現役でいられるように身体に気をつけて、頑張ろうと話しています。

まさに「生涯スポーツ・インディアカ」の見本のような山村さんと志賀さんは、我が船橋さざんかクラブの誇りでもあります。

県大会など試合ではなかなか勝つことができないさざんかクラブですが、いつまでもクラブのみんなと仲良く、順番に還暦のお祝いをしてもらえるのを楽しみに、前向きの姿勢で、今も楽しく過ごしていこうという思いを新たにしています。

（鈴木和代）



埼玉県岩槻市 I・I・C

“生ビール一杯”

昭和61年2月、10名でスタートし現在17歳～57歳まで男性10名、女性10名で大変バランスの良い団体となり、今年で14年目を迎えており益々充実したクラブとなってまいりました。私達の所属している岩槻市では日本一の組織力と自負できる程に結束力と行動力のある連盟の中で育ち、連盟としても結成17年目を迎え、また新たな一歩を歩もうとしております。市内の大会は、いろいろ合わせると年間9大会もあり、大変盛んに行われております。私達のクラブも市内の大会は勿論ですが、他市、他県の交流大会にも積極的に参加し交流を深めてまいりました。しかし、ただ参加するのではなくその大会の主旨に応じてチームを編成し、そのチームの目的をもって参加するようにしています。最近では一昨年、スポレク（沖縄）に参加し大変楽しい思い出となっております。また、試合も楽しみながら、練習の成果を確認しながら行っており、サービスエースをするとベンチより“生ビール一杯”の声がとび、その大会後の交流会（飲み会）で生ビールが一杯楽しめます。こんなクラブですが、日ごろの練習はビシッとし、特に初心者にはマンツーマンで3ヶ月ぐらい基礎を指導しております。これからインディアカを高いレベルで楽しみ、交流を通じてたくさんの仲間づくりをしていきたいと思ひます。どこかで埼玉県のI・I・Cの名前を見ましたら声をかけてください。

（代表 栗原則子）



大会報告

全日本シニアインディアカ大会

第1回全日本シニアインディアカ大会が、平成10年9月20日(日)茨城県ひたちなか市総合体育館で全国から女子・混合あわせて72チームが参加し開催された。

大会にさきだち、前日に催された水戸徳川のゆかりの地を訪ねるバスツアー、その夜の全国の仲間との懇親パーティーなどシニア大会ならではのイベントが好評で、大会ムードが否が応にも盛り上がった。

本大会は、近年若い世代がインディアカに参入し、競技が高度化するとともに技術だけではカバーしきれない体力・スピードがプレーの決め手になろうとしている状況にあって、本来の競技する楽しさ=技術・年齢・体力・目的等が同じくらいのチームが競い合う時に生まれる=を十分に堪能していただくことを目的として開催されるもので、本年度より始まった。

競技は全参加チームを6チームを1グループとする12グループに分け、各チーム3試合ずつ行い、勝敗によりチームにポイントを与え、グループの合計獲得ポイントにより順位を決定するグループ対抗戦とした。

地元茨城県インディアカ協会の全面的なご協力により、和気あいあいとした雰囲気の中、記念すべき第1回大会はスムーズに進み、好評を博して終了した。

なお、優勝はBグループで次の6チームだった。

日野アパッチ(東京)、石川ハッピーフレンズ(茨城)、湖北台IC(千葉)、WOODS INDIACA CLUB(愛知)、東松山ドバーズ(埼玉)、あやめクラブA(兵庫)

第11回全国スポレク祭インディアカ大会

平成10年10月4日・5日スポレクぎふ98インディアカ大会が岐阜メモリアルセンターで愛ドーム(岐阜市)で開催された。

各都道府県代表54チーム(岐阜県は8チーム)が集まり、1日目は6チーム(9ブロック)による順位決定リンクリーグ戦(各チーム3試合)を行い、1位~54位までを決定した。2日目は1日目の順位別に6チームずつ9ブロックに分け、順位別決勝リンク戦(各チーム2試合)を行い、各ブロック上位3チームが表彰された。

本大会の特筆事項は、天下分け目の地「岐阜」で行うことから「国盗りインディアカ合戦」と名付け、2日目の順位別決勝リンク戦にグループ対抗戦の要素を加えて、各チームの勝ち点の合計によってグループの順位を決定し、優勝グループに特別賞を与えるというもので、自分達のチームが試合のない時などは、自グループの他県のチームの応援にまわるなど大変な盛り上がりを見せたことだ。



【事務局だよりについて】

1. 更新手続きについて

新しいカードはお手元に届きましたでしょうか？

更新の締切が3月31日までとなっておりますが、まだ受付しておりますので、お済みでない方がいらっしゃいましたら、所属都道府県協会までご連絡下さい。

中には、「直接」IAに送った方が手続きが早いのでは？」と思われる方がいらっしゃいますが、そのようなことはございません。

2. ピンバッチ販売中です。

インディアカを形取ったピンバッチを3個・1,000円(+送料)で販売しています。

(ボールの部分が白い色をしている方です)

郵便またはFAXでお申し込み下さい。

3. リーフレットができました。

インディアカってどんなスポーツ？ということで、簡易ルールや個人会員入会法を載せたリーフレットを作りました。(A4 3ツ折り)

まだインディアカを知らない方に興味を持って頂ければと思います。

御希望の方に発送しますので、ご連絡下さい。